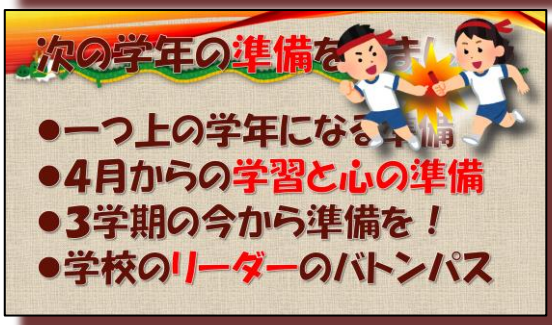
はまなし

鶴岡市立西郷小学校　学校だより
令和５年度 第１１号（2024.1.23 発行）
～地域・家庭とともにある西郷小学校～

2024年のスタート

■２０２４年が幕を開けました。ここでは９日の始業式の様子をお届けいたします。今回の児童発表の代表は、５年生の小林くん。４月から最高学年に進級するので、この３学期は３つのことをがんばると力強く話してくれました。以下、校長が話したことも紹介させていただきます。

■３学期は短く、４８日間しかありません。ですから、めあてをしっかり決めて力を伸ばしてほしいのです。学習も生活もしっかりした土台があるから積み重ねることができるのです。ですから、学年のまとめに力を入れましょう。それから次の学年の準備も、がんばっていきましょう。



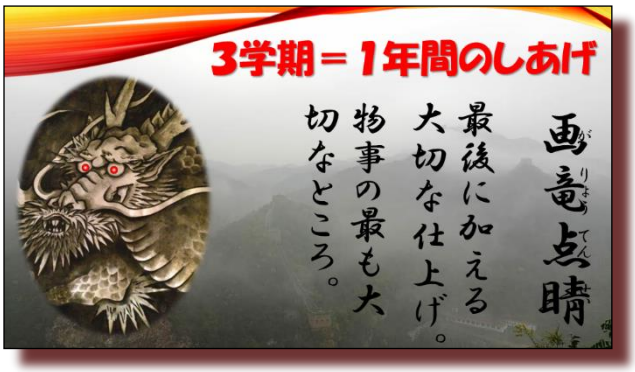
西郷小のリーダーのバトンパス

■特に５・６年生のみなさんにお願いがあります。今年度、児童会など学年の枠を越えた活動（異学年交流）が大成功しています。この大成功を１年限りで終わりにしたくないのです。大成功の秘密は何なのか？来年度も成功を続けるには何が必要なのか？また、さらに高めるには何をしたらよいのか？こうした話し合いを代表委員会・各委員会・５＆６年生で進めてほしいのです。今まで支えてきた「やさしくて頼もしい６年生」はもうすぐ卒業して、中学生になります。そして、その日から西郷小を支えるのは５年生なのです。よろしくお願いします。

（５年生へ）６年生のようなリーダーになるには必要です。そして、６年生が安心して卒業できるようにしてあげたいのです。

（６年生へ）５年生が困ったり、迷ったりしないようにしてあげたいのです。最後までよろしくお願いします。

画竜点睛をめざしましょう



■昔々のお話です。中国にいた絵の名人が、龍の絵をかきました。絵の仕上げに、瞳をかき入れると、龍に命が吹き込まれ、天へ昇っていきました…。この話をもとに「画竜点睛（がりょうてんせい）」という言葉が生まれました。「物事の最後に加える大切な仕上げ」という意味があります。がんばりを積み上げてきた今年度の「最後の総仕上げ」として、４８日間しかない３学期は「画竜点睛」を意識して過ごしましょう。

■始業式での話を受けて、全校の子どもたちが３学期のめあてを立てています。ご来校の際にご覧ください。

新年試筆(1/9)全校で書き初めをしました。正月休み中にたくさん練習したおかげで、上達した子が多く、うれしく思いました。一筆一筆に心を込め、丁寧に向き合う姿は、西郷の子どもたちの素晴らしい長所です。これからも大切にしていきたいものです。